

**事業者名:美保テクノス株式会社**

■本社所在地:鳥取県米子市昭和町 25

■TEL:0859-33-9211

**取組テーマ:「建設業をもっと楽しく もっとエキサイティングに」**

■事業概要 (自社の技術・製品・サービスなど、主な事業について記載)

- ◆土木建築に関する工事の施工及び測量・企画・調査設計・管理・監督並びにコンサルタント業務
- ◆建設機械のリース業務
- ◆砂利、砕石の採取及び販売を行う業務など

■2030年に目指す姿 (現状を起点とした目標設定ではなく、SDGs 実現に向けた自社のあるべき姿を検討し、記載)

私たちは、事業を通じてお客様と地域の課題を解決する「価値あるもの」をご提供し続けることで、必要不可欠な建設企業として永続していくことを目指す

■SDGs の取組の PR ポイント

(目指す姿の実現に向けた取組として、特に PR したい内容を簡潔明瞭に記載。図や写真等も貼付可。)  
 担い手育成の一環として建設業の未来づくりに力を入れています。深刻な人手不足が叫ばれる建設業界ですが、様々な取り組みから建設業の新たな魅力を創りだし、未来へ向け挑戦しています。BIM(ビルディング インフォメーションモデリング)は 3次元モデルを作成し、設計から施工、維持管理に至るまで建築ライフサイクル全体で情報を活用することで、環境負荷の低減のみならず建築ビジネスの業務にイノベーションを起こす画期的なワークフローの推進しています。



BIM モデル

■3側面の重点的取組

(重点的に取り組む項目を太字とし、現状と今後の目標・取組を記載)

社会		
認証申請した項目に○印	労働災害の防止	○
	ハラスメントの防止	○
	女性の活躍	○
	障がい者雇用	○
	多様な人材の活躍	○
	多様な働き方の促進	○
	労働者の人権配慮	
	社会配慮商品・サービス	
	地産地消	○
	地域社会への貢献	○
+		
経済		
認証申請した項目に○印	BCP 策定	○
	セキュリティ対策	○
	法令遵守の取組徹底	○
	情報公開	○
	後継者の確保	○
	市場変化への対応	
	経営資源活用	○
	デジタル化・生産性向上	○
	雇用の維持・拡大	○
	人材育成・能力開発	○
+		
環境		
認証申請した項目に○印	自社の気候変動リスク	○
	社会変化の気候変動リスク	
	自社による環境への影響	○
	燃料消費量の削減	○
	電力消費量の削減	○
	再生可能エネルギー	○
	廃棄物の削減	○
	水資源の適正な管理	○
	環境配慮型商品・サービス	
	環境面での社会貢献	○
+		

社員が安心・安全に働けるように、各種制度の拡充や見直し、また情報公開を行っています。外国人材の雇用も増えてきましたのでより一層、制度や研修の充実を図ります。また、地域活動や職場見学受け入れを通じて子供たちに建設業の魅力を伝える取組を行っています。

デジタル化が進む建設業において、生産性向上はもちろんのこと、情報セキュリティ対策も必須であると考え取組を実施しています。また、PFI(民間資金と技術の活用手法)や BIM(ビル情報のモデル化)の活用では、自社だけでなく他社とのパートナーシップ連携をとりながら取組を進めています。

環境影響評価により、建設業が環境に与えるリスクや機会を把握し事業を行うことを目指しています。DX や ICT 土木の推進などから環境への負担軽減を目指しています。

## ■トレードオフの分析

(上記重点的取組を推進した際に、トレードオフ(代償)としてどのような負の影響が生じるか、またそのことにどう対処していくか分析を記載)

社会面:多様な人材が活躍することによるコミュニケーション不足

→地域活動(お祭り・清掃活動)等への参加し、業務以外で部門を超えた社員同士の関わりを増やす

経済面:情報やデジタル技術の漏洩リスク

→リテラシー向上のための教育

環境面:環境負荷低減のための設備の導入費用の増加

→費用対効果等を勘案し、計画的に導入する

(様式第2号) とっとりSDGs企業認証 チェックシート [2024年3月改正版]

(企業名: 美保テクノス株式会社)

色付きのセルのみ入力してください

社会	8	○
経済	9	○
環境	7	○
合計	24	○

(○となった取組項目数とその各側面の判定)

(各側面で○となった取組項目数の合計と全体の判定)

番号	取組項目	必須	チェックリスト	チェック欄	判定	直近1年程度の具体的な取組 (更新申請においては、直近の認証期間中の具体的な取組)	2030年の目標	今後3年間の取組	
社会1	労働災害の防止				○				
社会1			[KPI] 労働災害の年間発生件数	✓		6件(休業4日以上労働災害)	労働災害ゼロ	労働災害ゼロ	
社会1			労働安全衛生に関して、経営層が専門家から指導・助言を受けている	✓		毎月の安全衛生委員会で産業医の出席・アドバイス受けている	労働災害ゼロ(継続)	[1年目] ・特別パトロール、全社パトロールの実施・週1回現場に常駐し安全指示実施・現場の災害防止協議会への出席	
社会1			安全衛生委員会の設置など、社内体制を整備している	✓		安全衛生委員会を設置(毎月第2水曜)		[2年目] ・継続	
社会1		★	安全対策のルールやマニュアルなどを整備している	✓		手順書など整備し、不安全行動を起こさせないよう努めている		[3年目] ・継続	
社会1		★	危険箇所・ヒヤリハットの情報収集、実態把握を行っている	✓		全社パトロール・特別パトロールを実施し、危険箇所・危険作業に対し指示・指導を行っている。現場でのヒヤリハットは各現場にて作業員に周知している。			
社会1			防災防止のための具体的な施設・設備の導入・改善を行っている						
社会1			労働安全衛生に関する研修を行っている	✓		各種研修を実施(安全・衛生)			
社会1			安全意識を醸成する外部の活動に参加している						
社会1			ISO45001などの労働安全衛生マネジメントシステム認証を取得している						
社会1			取引先において労災を誘発しないよう取引条件等に配慮している	✓		協力会社ごとに誓約書の提出を義務付け			
社会1			その他(※法令の規定への対応は対象外)	✓		労働・交通災害を防止する専門の部署を設置			
社会2	ハラスメントの防止				○				
社会2			[KPI] ハラスメントの年間相談件数	✓		2件	0件	1件 取組みは以下に記載	
社会2			ハラスメント防止に関して、経営層が専門家から指導・助言を受けている				誰でも気軽に相談できる体制	[1年目] ・ストレスチェックに新版推奨尺度セット短縮版を追加・ハラスメント研修の実施・相談窓口の強化	
社会2		★	ハラスメントに関する相談窓口を設置するなど、相談体制を整備している	✓		相談窓口の設置及び案内を実施している。(イントラネットでの周知のほか、各フロアのトイレ・従業員通用口掲示板・従業員用のリフレッシュルームなど各所に掲示をしている。)		[2年目] ・継続	
社会2		★	相談者・行為者等のプライバシー保護のための措置を講じ、周知している	✓		個人情報や相談内容の取扱いについて案内に記載している。		[3年目] ・継続	
社会2			ハラスメントを行った者に対する懲戒規程等を整備し、従業員に周知している						
社会2		★	アンケートや面談などにより、実態把握を行っている	✓		定期面談の実施を実施し面談の場を設けている。			
社会2			ハラスメント防止に関する研修を行っている	✓		管理職を対象とした研修実施			
社会2			社員同士以外のハラスメント(顧客、取引先、就活生等)の防止を図っている						
社会2			その他(※法令の規定への対応は対象外)	✓		こころの耳周知カードをトイレ(ひとりになれる場所)に設置			
社会3	女性の活躍				○				
社会3		★	[KPI] 全従業員に対する女性従業員の割合	✓		18%(女性従業員数41人)		20%以上	研修開催(アンコンシャス・バイアス解消)
社会3		★	[KPI] 管理職に占める女性労働者の割合	✓		10%(女性管理職7人/全管理職員数65人)	25%継続	研修開催(アンコンシャス・バイアス解消)	
社会3			[KPI] 男性従業員賞金の平均額に対する女性従業員賞金の平均額の割合						
社会3		★	[KPI] 男性従業員の育児休業等取得率	✓			62%	80%	研修開催(アンコンシャス・バイアス解消)
社会3			女性の活躍に関して、経営層が専門家から指導・助言を受けている				管理的立場(係長以上)にあるもの女性割合を25%(継続)	[1年目] ・研修開催(アンコンシャス・バイアス解消)	
社会3			女性の活躍について、会社の方針を表明している	✓		行動計画を策定し、公表している		[2年目] ・管理的立場(係長以上)の女性割合15%	
社会3		★	育児・介護に配慮した柔軟な勤務形態導入などの規程を整備している	✓		法改正に合わせ規定を整備している。また、育児・介護と仕事の両立についての相談窓口の案内も実施している。		[3年目] ・管理的立場(係長以上)の女性割合25%	
社会3		★	自社の女性の活躍について、アンケート等により実態や課題を把握し分析している	✓		実態を分析し情報をホームページで公開している。			
社会3			必要な施設・設備の導入、改善を行っている						
社会3			女性のキャリアアップに向けた研修の実施や、外部研修への参加を推奨している						
社会3			県の輝く女性活躍パワーアップ企業、国へのるぼし認定等に登録されている	✓		鳥取県輝く女性活躍パワーアップ企業登録			
社会3			その他(※法令の規定への対応は対象外)						
社会4	障がい者が働きやすい職場づくり				○				
社会4		★	[KPI] 障がい者雇用率 (法定: R5年度2.3%、R6年度2.5%、R8年度2.7%)	✓		2.6%(障がい者雇用者数6人)		2.70%	2.7% 取組みは以下に記載
社会4			障がい者雇用に関して、経営層が専門家から指導・助言を受けている				障がいのある方の働く場の創出	[1年目] ・障がい者雇用について検討	
社会4			障がい者雇用について、会社の方針を表明している					[2年目] ・ハローワークや教育機関(盲学校等)と連携	
社会4		★	管理者との面談の機会の設定、相談窓口の設置などを行っている	✓		定期面談の実施及び、相談窓口を設置している		[3年目] ・障がい者を新たに1名採用	
社会4		★	バリアフリーやユニバーサルデザインなど、施設・設備の整備を行っている	✓		スロープ、エレベーター・多目的トイレの設置			
社会4		★	障がいの特性に応じた仕事内容の工夫や柔軟な勤務形態の採用を行っている (該当の社員に係る障がい者の就労支援機関との情報交換などを含む)	✓		後遺症等で気温や気圧の変化で体調が安定しない社員については在宅勤務を認めている他、配置転換なども実施している。			
社会4			試用雇用や職場適応訓練などの受け入れ体制づくりを行っている						
社会4		★	企業内支援者の養成や従業員の理解促進に向けた研修を行っている	✓		企業内支援者研修受講(1名)しました。			
社会4			その他(※法令の規定への対応は対象外)						
社会5	多様な人材の活躍				○				
社会5			[KPI] 中途採用比率						
社会5			[KPI] 離職率または離職者数						
社会5			[KPI] 外国籍の社員数	✓		3人	5人	4人(人材派遣会社を通じた人材紹介)	
社会5			[KPI] 65歳以上の社員数						
社会5			多様な人材の活躍に関して、経営層が専門家から指導・助言を受けている (※本項目では、女性、障がい者以外の人材を対象)				エイジフレンドリー職場の構築	[1年目] ・高齢者の特性について調査実施	
社会5			多様な人材(属性、キャリア・経験など)の活躍について、会社の方針を表明している (※本項目では、女性、障がい者以外の人材を対象)					[2年目] ・高齢者が働きやすい設備の導入検討	
社会5		★	経営層は、多様な人材との対話や、課題の把握・解決を実践している	✓		離職する社員からヒアリングを行ったり、階層別に対話の機会を設ける他、再雇用面談など適宜話し合いの場を設け、離職率低下・働きやすい働き続けられる職場環境の構築を行っている。		[3年目] ・設備の導入実施	
社会5			同一労働同一賃金に基づき待遇格差解消に取り組んでいる						
社会5		★	非正規労働者の正規への転換など、非正規労働者の処遇改善を推進している	✓		本人希望を聞き、正規への転換を行っている。			
社会5			高齢者の特性に応じた仕事内容の工夫や施設整備・設備導入を行っている	✓		男性用トイレハンズフリーボックス設置			
社会5		★	外国人労働者の受け入れに関する体制づくりを行っている	✓		2024年度2名のベトナム人材入社(現在3名)。2025年度も入社を予定している。			
社会5			その他(※法令の規定への対応は対象外)						

番号	取組項目	必須	チェックリスト	チェック欄	判定	直近1年程度の具体的な取組 (更新申請においては、直近の認証期間中の具体的な取組)	2030年の目標	今後3年間の取組
社会6	多様な働き方の促進				○			
社会6			[KPI] ひとあたりの労働者の平均残業時間	✓		14時間	10時間	生産性の向上による残業時間削減
社会6			[KPI] 年次有給休暇の取得率	✓		76%	100%	有給取得啓蒙
社会6			多様な働き方に関して、経営層が専門家から指導・助言を受けている	✓		社労士の先生から助言を受けている		
社会6			健康経営を経営方針として位置付けている	✓		健康経営優良法人(中小規模法人部門)ネクストプライト1000認定		[1年目] 若者の採用・育成を積極的に行い、優良な雇用管理の状況を継続する中小企業を厚生労働大臣が認定するユースエール認定の取得を目指す。 ・ユースエール認証申請 [2年目] ・ユースエール認証申請継続 [3年目] ・ユースエール認証申請継続
社会6			管理職の人事評価に、部下の残業時間や有給休暇取得状況を関連付けている					
社会6			上記以外の休暇を取得しやすい独自の仕組みを設けている					
社会6		★	フレックスタイムや在宅勤務、短時間勤務など柔軟な働き方に関する制度を設けている	✓		本人の家庭の事情などを聞き、在宅勤務や短時間勤務、時差出勤などを認めている。		
社会6			従業員の副業を認めている					
社会6		★	従業員へのヒアリングなどにより、課題等の実態把握を行っている	✓		定期面談を実施し課題をヒアリングしている。		
社会6			その他(※法令の規定への対応は対象外)					
社会7	労働者への人権配慮				-			
社会8	社会配慮型商品・サービスの提供		※環境に関する内容は環境9に記載		-			
社会9	地産地消				○			
社会9			[KPI] 県内事業者からの調達率	✓		74%(件数ベース/金額ベース)	80%	調達率の維持 県内業者を中心とした協力業者会の継続運営
社会9			地域産業の発展や地域の事業者との共存共栄を経営方針に位置付けている	✓		経営理念・経営10ヶ条などに載っている。		
社会9			パートナーシップ構築宣言を行っている	✓		パートナーシップ構築宣言日:2024年10月7日		[1年目] ・経営方針の定着
社会9			地元事業者から、積極的・優先的に仕入れている	✓		公共工事以外でも積極的に地元企業への発注を実施		[2年目] ・継続
社会9			地域資源・地元産品を活用した商品・サービスを開発・提供している					[3年目] ・継続
社会9			「食パラダイス鳥取県」アパサダーに登録している					
社会9			その他					
社会10	地域社会への貢献		※ビジネスとしての活動は社会8、環境に関するものは環境10に記載		○			
社会10			地元自治会との交流イベント主催、防災訓練への参加など、地域活性化の取組を行っている					[1年目] ・あいサポート企業登録検討
社会10			地域の学校における社会教育活動に協力している	✓		総合的な学習の時間の受け入れ		[2年目] ・継続
社会10			地域の自治体や学校、福祉団体等への寄附や寄贈を行っている	✓		児童養護施設への寄附・支援		[3年目] ・継続
社会10			災害時等に、地域住民に対して物資や避難場所の提供等を行っている又は同様の取組に係る地域防災協定を締結している	✓		米子市との災害協定を締結(避難場所提供)		[3年目] ・継続
社会10		★	「あいサポート企業」登録など、障がいの有無に関わらず尊重しあう社会づくりに参画している	✓		パラローイングを支援する米子ローイング協会にスポンサー参画し、障がいの有する人も含むさまざまな人への普及と発展、スポーツを通じた共生社会の実現を応援している。昨年はJARIパラリンピック出場する森卓也選手に対して会社から寄附を実施した。		全社員あいサポーター研修を実施
社会10			通勤、出張時の公共交通機関利用を促進するなど、地域交通機関の維持に貢献している					
社会10			その他					
社会+			※社会1~10に該当しない項目について記載(該当するものは対象外)		-			
経済1	事業継続計画(BCP)の策定		※自社自身の取組を記載(他者の支援は社会8または10で記載)		○			
経済1		★	BCPを策定している	✓		策定済み(初版:平成24年)		[1年目] ・BCP教育・訓練の徹底
経済1			BCPに沿った訓練を実施し、有用性を検証している	✓		安否確認を実施		[2年目] ・継続
経済1			策定したBCPや訓練の結果に基づき、仕組みづくり、設備導入等の対策を行っている	✓		備蓄品の強化を実施		[3年目] ・継続
経済1			有用性を確保するため、定期的にBCPを見直している					他のリスクに対するBCPを策定(風水害編)
経済1			サイバーセキュリティや新型コロナウイルスなど、新たな脅威を把握しリスクの分析を行っている	✓		BCPセミナーにて新型コロナウイルスのリスク分析を実施		
経済1			その他					
経済2	セキュリティ対策				○			
経済2			セキュリティについて、専門機関の診断・指導を受けている					[1年目] ・社内情報管理規定策定
経済2			取引先や運送・清掃業者など、建物に出入りする者のセキュリティ上のルールを整備している	✓		1階以外は社員証(セキュリティカード)による扉の開錠		[2年目] ・規定の浸透と周知
経済2		★	個人情報や機密情報の入手、利用、保管、提供、消去等の取扱ルールを設けている	✓		情報セキュリティ基本方針を定めている。		[3年目] ・規定の適宜見直し
経済2			情報セキュリティに関する管理者や専門部署を設置している	✓		情報システム部の設置		情報の取扱いに対するリテラシー向上
経済2			経営層や従業員に対して、専門家によるセキュリティ研修を行っている					
経済2		★	ウイルス対策ソフトの導入やOS等の定期的な更新している	✓		全台に対してウイルス対策ソフトを導入・OSのアップデートも実施している		
経済2			重要な情報については、アクセス制限を行っている	✓		閲覧制限を設けている		
経済2			ISMS認証やPマークなどを取得している					
経済2			その他、具体的なセキュリティ対策を実施している	✓		UTMの設置・EDRの導入		
経済3	法令順守の取組の徹底(必須)				○			
経済3			コンプライアンスに関して、経営層が専門家から指導・助言を受けている	✓		担当弁護士から指導を受けている		[1年目] ・法改正の情報収集継続
経済3			経営トップが、法令順守することについて、社内外にメッセージを発信している					[2年目] ・法改正の情報収集継続
経済3		★	自社事業に関わる法令を把握・社内共有し、遵守している	✓		建設業協会等関係団体から情報収集し、部門長会議・部会等で社内共有を実施している。		[3年目] ・法改正の情報収集継続
経済3			コンプライアンス委員会の設置など、チェック体制を設けている					コンプライアンス違反ゼロ
経済3			公益通報制度(内部通報制度)を整備している					
経済3		★	コンプライアンスマニュアルなどの社内規定の作成し、社内に周知している	✓		社内規定はイントラネットにて公開している。		
経済3			従業員に対するコンプライアンス研修を実施している	✓		特に交通法規及び労働安全法の研修に力を入れている		
経済3			その他(※法令の規定への対応は対象外)					
経済4	情報公開				○			
経済4			地域住民に影響を及ぼす可能性のある事業活動について、関係自治体や地域住民への情報提供など、適切なコミュニケーションを行っている	✓		工事着工前に近隣説明会を実施するなどしている		[1年目] ・継続
経済4			就職を希望する者に対して、人事労務や就労実態等に関する情報提供を行っている	✓		HPや両立支援サイトで情報提供を行っている。		[2年目] ・継続
経済4			情報提供にあたっては、多様な利用者や利用環境(アクセシビリティ)に配慮した情報提供を行っている					[3年目] ・継続
経済4			消費者や取引先からの情報開示の問い合わせに対する対応方針を策定し、適切に対応している					近隣説明を徹底し、自治体や地域住民とのコミュニケーションを継続
経済4			消費者や取引先に影響のある情報漏洩や品質問題などの公表基準を設け、適切に運用している					
経済4			会社としての公式ホームページやSNSを有し、定期的に情報発信している	✓		ホームページ・Facebook・Instagram・社内報		
経済4			その他(※法令の規定への対応は対象外)					

番号	取組項目	必須	チェックリスト	チェック欄	判定	直近1年程度の具体的な取組 (更新申請においては、直近の認証期間中の具体的な取組)	2030年の目標	今後3年間の取組
経済5	後継者の確保				○			
経済5			<代表者が60歳以上の場合>円滑に事業承継を進めるため、相談機関や専門家等に相談するなど具体的な取組を行っている				経営企画部を中心に経営計画を推進	【1年目】 ・経営管理データ報告の定例化・経営マネジメントに必要な情報をタイムリーに提供 【2年目】 ・継続 【3年目】 ・継続
経済5		適性のある後継者候補を選定している						
経済5		会社の資産や月次の資金繰り、株式の保有状況、経営者保証の状況など、経営状況・経営課題等を後継者候補が把握している	✓		経営企画部を立ち上げ把握している			
経済5		代表者一人に依存しない、経営体制を構築している	✓		取締役会等で経営体制を構築している			
経済5		事故や病気など、経営者の有事の際の対応方針を役員や従業員と共有している						
経済5		その他						
経済6	市場変化を見据えた対応				-			
経済7	自社以外の経営資源活用		※グループ企業間での取組は対象外		○			
経済7			大学や試験研究機関などの有する専門性を活用している	✓		鳥取環境大学 (SDGs共創プロジェクト)・熊本大学等 (TOMSbi)システム共同開発)と連携している	様々なステークホルダーとの継続し協働	【1年目】 ・継続 【2年目】 ・継続 【3年目】 ・継続
経済7		技術・ノウハウ、知的財産等に関する他社との連携・オープンイノベーションに取り組んでいる	✓		PFI事業の実施			
経済7		副業・兼業などの外部専門人材や、土業等の専門家の知見を活用している	✓		PFI事業にて実施			
経済7		自社の中核事業と非中核事業を見極め、戦略的に外部委託を行っている						
経済7		投資ファンドなどの外部資金を獲得している						
経済7		関係企業、業界団体のネットワークに参加し、情報収集や情報交換を行っている						
経済7		その他						
経済8	デジタル化による生産性向上				○			
経済8			[KPI] 労働生産性 (付加価値額÷従業員数)				新しい技術には果敢にチャレンジができる環境構築 (当たり前前に建設DXを実現する)	【1年目】 当社は3か年の中期経営計画を推進しており、基本施策の中にも当たり前の建設DXが盛り込まれている。そのため中期経営計画推進が建設DXの実現につながるものと考える。 ・中期経営計画の推進 【2年目】 ・中期経営計画の推進 【3年目】 ・中期経営計画の推進
経済8		専門家から助言・指導を受けながら、経営層が主体となってデジタル化・DXを進めている						
経済8		デジタル化・DXに関する計画や方針を策定している	✓		DX戦略を策定し、HPで公開している。			
経済8		デジタル化を推進する専用の部署や人材など、体制づくりを行っている	✓		ICT推進室の設置			
経済8		★ 営業・仕入れ・販売、開発・製造管理など、個別業務のデジタル化を行っている	✓		おどろきWEBやMS365など各種システムを導入し運用している。			
経済8		業務間のデータを連携し全社的なデジタル化による業務変革・DXを進めている	✓		基幹システム (ガリバー) や積算システムなどを活用し実施			
経済8		顧客・取引先との接点業務など各種業務におけるデジタル技術の活用状況を分析し、運用改善を行っている						
経済8		新たな価値や顧客創出に向け、AI、ビッグデータ等を活用している						
経済8		その他						
経済9	雇用の維持・拡大		※採用活動そのものは対象外		○			
経済9		★ [KPI] 従業員数	✓		225人 (4/21現在)	250人	インターンシップからの採用促進	240人 (新卒・中途の計画的な採用実施) 【1年目】 ・とっとりインターンシップと連携した受け入れ 【2年目】 ・インターンシップの受け入れ継続・内容充実 【3年目】 ・継続
経済9		採用後にミスマッチが起きないよう、インターンシップや内定後のフォローアップなどを行っている	✓		インターンシップの受け入れ・内定後フォロー実施			
経済9		会社の成長・発展に向けた事業転換や経営の多角化、設備投資を行っている	✓		BIM事業への投資			
経済9		新規出店や商圏拡大、M&Aなどの事業拡大に取り組んでいる						
経済9		事業転換や多角化、商圏拡大などの方針を踏まえた人材のスキル転換、処遇改善、採用活動を行っている	✓		人手不足に備えた採用及びスキルアップ			
経済9		人材確保のため、物価上昇率なども助業し、賃上げ (ベースアップ) を行っている	✓		毎年実施している。			
経済9		離職防止、ES向上に向けた取組を行っている						
経済9		その他						
経済10	人材育成・能力開発				○			
経済10			経営層関与の下、従業員の能力向上に向け、一定の予算を確保し、人材育成に取り組む方針を示している				資格取得奨励金・祝金の拡充	【1年目】 ・eラーニングの活用 【2年目】 ・資格取得支援金の対象範囲の検討 【3年目】 ・継続
経済10		業務に必要なスキルマップを作成・更新している	✓		各部にてスキルマップを作成			
経済10		従業員のスキルを定期的に把握し、能力開発計画を策定・更新している	✓		人材育成計画を策定・更新しキャリア形成を支援している			
経済10		外部研修への参加やeラーニングの活用を奨励し、積極的に受講させている	✓		対面研修・オンライン研修問わず受講させている			
経済10		OJTの質の向上に向けた業務内容のマニュアル化やマニュアルの見直し、トレーナー教育を行っている						
経済10		ジョブローテーションにより、計画的に従業員のスキルアップ・多能工化を図っている						
経済10		能力の向上を人事評価や処遇に反映させる仕組みを設けている						
経済10		従業員の資格取得を推奨し、要する費用を支援している	✓		資格取得支援金や資格取得祝金			
経済10		その他						
経済+			※経済1～10に該当しない項目について記載 (該当するものは対象外)		-			

番号	取組項目	必須	チェックリスト	チェック欄	判定	直近1年程度の具体的な取組 (更新申請においては、直近の認証期間中の具体的な取組)	2030年の目標	今後3年間の取組
環境1	自然環境の変化が経営にもたらす影響		【気候変動リスク・機会の分析・対策①】		○	分析・検討内容を記載		
環境1		★	リスクを特定している（気候変動による災害リスクの主なもの 急性リスク：洪水、台風、自然火災等／慢性リスク：海面上昇、高温、 水不足等）	✓		実施している	夏場の熱中症発生ゼロ	酷暑による熱中症を未然に 防止するためウェアラブルデ バイスの積極的な導入を 実施する
環境1		★	上記リスクの自社への影響を分析している（特定したリスクそれぞれについて記 載）	✓		風水害・台風・酷暑・水不足・大雪		
環境1		★	上記リスクについて優先順位（発生頻度×影響の重大性）をつけている	✓		実施している（酷暑＞大雪＞台風）		
環境1			上記リスクへの対策を進めている					
環境1			自然環境の変化による機会について分析している	✓		工事量の一時的な増加		
環境2	社会・制度の変化が経営にもたらす影響		【気候変動リスク・機会の分析・対策②】		○	分析・検討内容を記載		
環境2		★	リスクを特定している（気候変動による社会・制度に関する4種類のリスク： 政策・法規制、技術、市場、評判）	✓		実施している	自社排出量の把握	地球温暖化に対する社会・ 制度の変化に対して対応で きるよう情報収集を積極的 に行う
環境2		★	上記リスクの自社への影響を分析している（特定したリスクそれぞれについて記 載）	✓		温室効果ガス排出規制の強化、既存の技術や製品が陳腐 化、資源の収量・品質低下、イメージダウン		
環境2		★	上記リスクについて優先順位（発生頻度×影響の重大性）をつけている	✓		実施している（温室効果ガス排出規制の強化＞ 源の収量・ 品質低下＞ 既存の技術や製品が陳腐化＞ イメージダウン）		
環境2			上記リスクへの対策を進めている					
環境2			社会・制度の変化による機会について分析している					
環境3	自社の事業活動が引き起こす影響		【環境負荷リスクの分析・対策】		-	分析・検討内容を記載		
環境4	燃料消費量の可視化と削減 (Scope1)		【カーボンニュートラル①<省エネ>】		○			
環境4		★	[KPI] Scope1のCO2排出量	✓		994t-CO2	8%削減 (795t)	5%削減 (944t)
環境4			専門家による省エネ診断を実施し、削減に向けた助言・指導を受けている				社有車全車両電気自動 車へ更新	[1年目] ・社有車の計画的更新 [2年目] ・継続 [3年目] ・継続
環境4			省エネ設備（高効率ボイラ等）の導入・更新を行っている					
環境4			EEMS（エネルギーマネジメントシステム）を導入し、エネルギーの使用状況を 可視化やエネルギー運用の効率化を行っている					
環境4			CO2総排出量削減のため燃料を電気や都市ガスへ切り替えている	✓		工事の重機選定時、電気でも動くものも検討に入れている		
環境4			燃料消費量低減につながる設備等の運転を行っている	✓		社有車のBEV・HEV・PHEV車への更新		
環境4			その他					
環境5	電力消費量の可視化と削減 (Scope2)		【カーボンニュートラル②<省エネ>】		○			
環境5		★	[KPI] Scope2のCO2排出量	✓		158t-CO2	8%削減 (126t)	5%削減 (150t)
環境5			専門家による省エネ診断を実施し、削減に向けた助言・指導を受けている				長時間労働・休日出勤 削減（当該時間中のエ ネルギー使用の削減）	[1年目] ・現場での省エネ化の検討 [2年目] ・現場での省エネ化の実施 [3年目] ・継続
環境5			省エネ設備（LED照明、高効率空調等）の導入・更新を行っている	✓		エアコンと全熱交換器の併用、照明の照度自動抑制など		
環境5			EEMS（エネルギーマネジメントシステム）を導入し、エネルギーの使用状況を 可視化やエネルギー運用の効率化を行っている					
環境5			省エネに対応した建物改修を行っている	✓		新社屋でのzeb-ladyの認証取得		
環境5			節電マニュアルを作成し実践している					
環境5			その他					
環境6	再生可能エネルギーの導入		【カーボンニュートラル③<創エネ>】		○			
環境6		★	[KPI] 全使用電力に占める再生電力の割合	✓		3%	3%	3%
環境6			再生設備を設置し、発電した電気や発生した熱を自家消費している（売電 など他社へ供給している場合は環境9へ）	✓		太陽光発電の設置	本社・拠点の地域電力 への切り替え	[1年目] ・地域電力への切替検討 [2年目] ・地域電力への一部切替 [3年目] ・継続
環境6			グリーン電力証書の活用など、再生エネ由来の電力を調達している					
環境6			その他					
環境7	廃棄物の削減		※自社自身の取組を記載（他者を促す内容は環境9で記載）		-			
環境8	水資源の適正な管理		※自社自身の取組を記載（他者を促す内容は環境9で記載）		○			
環境8		★	[KPI] 年間使用量	✓		1620k ℓ	1539k ℓ	節水啓蒙
環境8			事業別、事業所別の使用量について、インバウトの大きな内訳を把握・分析し ている				建設現場で発生する雨 水やグレーウォーターの再 利用と有効活用の定着	[1年目] ・循環利用の検討 [2年目] ・循環利用の実施 [3年目] ・循環利用の促進
環境8			水使用量削減についての計画を策定し、具体的な取組を行っている					
環境8			水質汚濁防止法等に基づき、排水の水質等について、適正な管理・運用を 行っている	✓		関係法令や地域条例を遵守		
環境8			工場内等で水を循環利用するための施設を整備している					
環境8			その他（※法令の規定への対応は対象外）	✓		湧水などを利用して、工事で使用する水の量を減らす		
環境9	環境配慮型商品・サービスの提供				-			
環境10	環境面での社会貢献		※ビジネスとしての活動は環境9に記載		○			
環境10			会社として、道路・海岸や砂丘など、地域の清掃活動を行っている	✓		草刈りや清掃活動の実施	カーボンオフセット相当量 のクレジット購入	[1年目] ・現在の取り組み継続 [2年目] ・現在の取り組み継続 [3年目] ・現在の取り組み継続
環境10			調達時には、グリーン商品や森林認証（FSC、SGEC）を受けた商品など、 環境に優しい商品を選定している					
環境10			生物多様性の保全のための植樹活動や野生鳥獣保護活動を行っている	✓		水島公園美化清掃の実施		
環境10			J-クレジット購入又は共生の森づくりへの参加により、地域の森林保全に貢献 している					
環境10			学校や地域に対して、環境教育活動を実施している	✓		気候変動を体感するワークショップ実施		
環境10			環境保全のための寄附、寄贈等を実施している					
環境10			その他					
環境+			※環境1～10に該当しない項目について記載（該当するものは対象外）		-			